

## 香港 北タイ、ミャンマー行きミッショントリップのご報告

今回は香港から本年（2007年）第2回目の北タイ短期宣教旅行に行ってきた簡単なお報告です。イースター前には香港に戻らねばならない用事があったので、3月27日から4月7日までの12日間という短い旅でした。前半の3月27-31日はM姉妹が単独で参加してくださいました。

本来は、報告者(平山義明)を送り出している日本の母教会（聖書キリスト教会）のN姉妹から是非同行させて欲しいと言われて計画した旅行です。（でもお父様が突然入院される試練に直面され、急拠、旅行を取りやめられることになりました。お父様のご健康の回復を切にお祈り申し上げます。

M姉妹はN姉妹と同じ上智大学の学生で、今は渋谷の東京国際バプテスト教会に出席されています。今回の北タイ旅行は、N姉妹から同行することを勧められ準備も整えておられたことなので、予定どおりに決行しました。

3月24日(土)M姉妹 KA361 成田出発 19:20 ホンコン着

27日(火)M姉妹タイ、ミッショントリップに同行

TG603 ホンコン発 08:40-09:40 バンコク着 TG140 バンコク発 13:45-15:05 チェンライ着  
夏期休暇中で生徒のいないアカ族の学生宿舎に滞在(27-28日)宿泊。

28日(水) 北タイ国境のメイサイに移動。10年前から支援を続けるリス族学生宿舎に滞在(28-30日) 宿泊。夏休み中も小中学生は全員宿舎で訓練。夜少数民族の献身者を育てるベテル聖書学校訪問。

29日(木)山岳地帯の教会訪問。特に夏季訪問伝道に励むリス族学生宿舎の伝道チームを門安。

30日はミャンマーのアカ族の宣教開始100周年記念コンベンションに、約120人のタイ在住アカ族クリスチャンたちと一緒に参加しました。\*(英文資料参照)

毎年この時期は、カレン族とミャンマー軍の戦闘や、国境での小競り合いが発生し易く、前日も国境警備軍にタイ人1人が殺される等、緊張状態にある中での訪問でした。そのため、アカ族グループのミャンマー滞在は日帰りでは許可されません。9時にタイ側のメイサイに集合し、国境を越えると、のんびり仕事のミャンマー側イミグレーション係官から入境許可を取り付けて、やっと出発できたのが午後1時半。貸し切おんぼろ乗り合いバスに分乗して1時間余りかけて会場に到着しました。

竹とわら屋根で出来ただだっ広い主会場は村はずれの野原に建てられていて中に入ると、座るべき椅子やござもなく、人々は会場全体の地面に敷き詰められた藁くずの上に三々五々座り込みました。遙か遠くに講壇は見えても講師の顔は分からないので、所々に配置されたテレビモニターで集会の様子を知るような状態でした。（この乾季の時期に火の手が上がったら大惨事にもなりかねない場所で、主の見守りの中、集会はすすめられていました。）



会場の周囲にはミャンマー全土から集まった約3千数百名のクリスチャンが野宿し、さながら難民キャンプを思わせる風景でした。難民村と違うのは、出店もたくさんあり、にぎわい、各地のアカ族クリスチャンが共に会し、主にあつまみえ、喜びを分かち合う光景がいたるところで見られたことです。

国境は6時に閉鎖されてしまうので、それまでにミャンマーを出境しなければなりません。出足が遅れたので、出境に間に合わせるぎりぎりの滞留時間は、たった2時間だけでした。誰一人不満を漏らすこともなく、後ろ髪を引かれつつ、皆満足して、あわただしくタイ側にもどってきました。



4月3-4日アカ教会堂建設の開始。

トラクター2台で約800坪の土地が整地されました。アカ族学生寮の責任者であるヨハンさんが所有する個人の土地をアカ教会に譲渡することと、建築費用の最初の費用支払い(ドネーション形式で)を済ますことで、正式なスタートが切られました。感謝!

4-5日ウインパパオのラフ族生徒宿舎を訪問。昔、山地でダイエイさんのお父さんが始めたロッジヨウ村から降りてきたラフ教会の村長さんと執事に会い、2月末に決定していた多目的集会場の増築工事の進行状況をチェックしました。(古くなった教会堂を立て替えてもらえないかと強く要望されていましたが、希望を叶えるゆとりはないので、代わりに、教会の施設でありながら狭くて使用できずに放置されたままの集会場を80人収容できるように改造すれば、村の会議や聖書の学び、聖歌隊の練習、ラフ語・日本語教育等に活用できるので、改造を協力する約束をしていました。)

谷口巳三郎先生の21世紀農場も訪問する予定でしたが、時間切れで私はチェンライに戻りました。

4月7日(土)85歳の谷口先生はお疲れで、食欲も進まず容態が悪くなり、「今からチェンライのオーバーブロック病院に緊急入院されるから...」との知らせを受けました。離港直前でしたが、病院にお見舞いし、回復のお祈りをさせていただきました。5月11日に皇居にてアジアで働く民間人としては異例の叙勲を受けられるため、熊本にいて支援会長を務める奥様の要望で帰国することを決定しておられました。本人は無駄な帰国旅費を出費するより、そのお金をタイの困ってる人々にささげた方が良いと思っておられます。早期回復の為にお祈り下さい。

TG131 チェンライ発 15:55-17:10 バンコク着 TG602 バンコク発 19:00-22:45 ホンコン着

香港にて 平山 義明・佳久子  
KAKUKO & YOSHIAKI HIRAYAMA

\* ( 参照英文資料 )

1 April 2007  
Culture/ General

**Akha Christians celebrate centennial**

Akhas, the most numerous and widely distributed hill tribes of eastern Shan State, according to J.G Scott "Scott of Shan Hills", are marking their conversion to Christianity in 1907, report sources from the border.

The 4-day festival, 29 March - 1 April, is being held at the village of Zion in Mongkoe tract, Tachilek township. The event is organized by the Akha Baptist League, based in Kengtung.

Thousands of Christians from both sides of the border are taking part in the celebrations. "The only problem is that the local Burmese authorities have refused to allow those coming from Thailand to stay overnight", said an Akha resident. "So they can come only in the morning and go back in the evening".

The authorities' inflexibility could be due to the ongoing tension along the border between the two countries, according to a member of the Burma Army-backed Akha militia led by Ah Her and Ah Htoo. "Besides, those under 25 from other townships are not allowed to come", he added, "saying they could take advantage of the event to cross illegally into Thailand to find work. That's a lot of khi ma (dog shit). Who needs a centennial to cross the border?"

The first Akhas converted were recorded as Khawng Day and his two sisters Khawng Su and Khawng Hpo, who were slaves bought and freed by a Baptist missionary. They were baptized by a Karen minister Hpo Tun at the village of Khahtaw in Mongyawng township, 157km northeast of Tachilek. As for Tachilek township itself, the first Baptist mission was said to have been founded in 1929 by Reverend Tun Kyaw and Naw Mary.

Lahus and Shans have already marked their centennials, the former in 2004 and the latter last year.

-----  
For further information, please contact S.H.A.N. at:

Shan Herald Agency for News  
P.O. Box 15  
Nonghoi P.O  
Chiangmai 50007  
Thailand  
e-mail: <shan@cm.ksc.co.th>  
Ph: 66-81-5312837  
Website:www.shanland.org,

S.H.A.N. is an independent Shan media group. It is not affiliated to any political or armed organization.

News related to Shan & Burma, including other interested news items are collected and posted from time to time for your information. Those interested are requested to write to "Shan Herald Agency for News" <shan@cm.ksc.co.th> for subscription/unsubscribe